

北渡島檜山圏域地域医療構想推進に係る 重点課題について

- ◆ 地域医療構想に係る「令和5年度北海道取組方針」
- ◆ 経過報告（重点課題）
 - ◆ 「それぞれの病院における将来的な役割・機能等の在り方と検討」
 - ◆ 「人口減少を見据え、各病院での連携強化による急性期機能の集約化」
 - ◆ 「在宅医療の提供体制の構築に向けた、地域における役割分担の明確化及び連携体制の推進について」

日時 令和5年8月21日（月）18：00～
場所 北海道八雲保健所今金地域保健支所¹

1 基本的な考え方

令和元年度、具体的な取組に向けた集中的な議論を進めるため、各調整会議で、地域の実情を踏まえた「重点課題」（急性期機能の集約化、病院の再編・統合など）を設定したものの、新型コロナウイルス感染症への対応を最優先する中、多くの地域で議論を進めることが困難な状況が続いていた。

一方で、国の重点支援区域の選定や地域医療連携推進法人の設立、複数医療機関による再編を進める圏域もあり、地域が置かれている状況に応じて取組が進められている。

こうした中、国は新型コロナウイルス感染症対応が続く中ではあるが、地域医療構想の背景である中長期的な状況の見通しは変わっていないこと、感染拡大時の短期的な医療需要には各都道府県の医療計画に基づき機動的に対応することを前提に、地域医療構想については、その基本的な枠組み（病床の必要量の推計・考え方など）を維持しつつ、着実に取組を進めていくこととしている。

また、地域医療構想に係る民間病院も含めた各医療機関の対応方針の策定や検証・見直し、対応方針の策定率を目標としたPDCAサイクルを通じた地域医療構想の推進を各都道府県に求めている。

本道においても、人口減少や高齢化は着実に進行しており、医療ニーズの変化や担い手確保の厳しさが増すことなどを見据え、引き続き、地域医療構想の実現に向けて具体的な取組を進める必要がある。そのためには、地域医療構想調整会議での活発な議論が求められることから、新型コロナウイルス感染症への必要な対応を行いながらも、地域医療構想調整会議における議論を対面やWebでの開催を基本としながら、着実に議論を進めていく。

地域の医療機能の分化・連携に向けた外来機能報告等に基づく「紹介患者重点医療機関」については、外来機能報告の開始の延期にともない、地域医療構想調整会議での協議を令和5年度に実施する予定。

2 令和5年度の取組方針

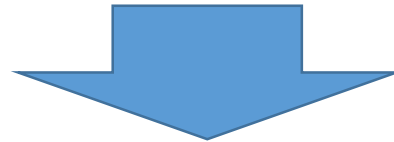
（1）重点課題

新型コロナ対応の状況に配慮しながら、地域が置かれている状況に応じ、引き続き、「重点課題」に関する今後の具体的な工程について共有が図られるよう議論を促していくとともに、「地域医療構想調整会議協議会」において検討状況の共有を図る。

なお、圏域によっては2025 年以降を見据えた中長期的な視点に基づき検討する必要があることに留意。

北渡島檜山圏域地域医療構想の推進に係る重点課題

項目	経過（概要）
○「それぞれの病院における将来的な役割・機能等の在り方と検討」	将来の人口減少や役割・機能の再検証、また、老朽化等による建替に伴い、病床機能の変更や削減。
○「人口減少を見据え、各病院での連携強化による急性期機能の集約化」	「急性期の削減・集約化」を整理したところ、2025年における当圏域の急性期機能は、削減・機能転換により八雲総合病院に9割程度が集約される見込み。
○「在宅医療の提供体制の構築に向けた、地域における役割分担の明確化及び連携体制の推進について」	在宅医療提供体制の推進に向け、多職種連携協議会事業（保健所事業）「多職種のつどい」を開催し、医師や歯科医師を始め、看護職、OT、PT等様々な職種や、介護サービス事業者等の連携づくりに努めている。 参加者が希望する講演テーマ等を企画し、「つどい」ことで連携体制を推進している。



各課題はそれぞれ進められているため、調整会議の場で、「どう進めるかという議論は要しない」と整理された。
 ※令和4年度第二回地域医療構想調整会議

経過報告（重点課題）

○ 「それぞれの病院における将来的な役割・機能等の在り方と検討」

内容	医療機関
・ 病床機能の変更や削減	・ 八雲総合病院 ・ 今金国保病院
・ 将来の人口減少等を踏まえた建替計画	・ 八雲町熊石国民健康保険病院 ・ せたな国保病院 ・ 長万部町立病院
・ 高いニーズを踏まえ、引き続き現在の役割を担う	・ 道南ロイヤル病院

■策定時								■現状								■2025年の予定							
平成26年（2014年）7月1日時点の機能として、各医療機関が自主的に選択した機能の状況です。1つの病棟に特定の患者だけが存在し、当該患者への医療だけを提供しているものではなく、実際の病棟の実情に即して、病棟内には様々な病期の患者が混在しており、各々の患者に応じた医療が提供されています。								令和3年（2021年）7月1日時点の機能として、各医療機関が自主的に選択した機能の状況です。1つの病棟に特定の患者だけが存在し、当該患者への医療だけを提供しているものではなく、実際の病棟の実情に即して、病棟内には様々な病期の患者が混在しており、各々の患者に応じた医療が提供されています。								2025年の機能の予定として、各医療機関が自主的に選択した機能の状況です。							
医療機関名称	全体	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	無回答	備考 （事務局追記）	全体	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休養中（再開予定）	休養中（廃止予定）	全体	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休養予定	介護保険施設等	備考 （事務局追記）	
八雲町熊石国民健康保険病院	99床	0床	99床	0床	0床	－		99床	0床	99床	0床	0床	0床	0床	30床	0床	10床	20床	0床	0床	0床	運営の再検討結果を反映	
八雲総合病院	254床	0床	214床	0床	40床	－		223床	0床	108床	75床	40床	0床	0床	223床	0床	108床	75床	40床	0床	0床		
長万部町立病院	54床	0床	30床	0床	24床	－		54床	0床	0床	30床	0床	24床	0床	54床	0床	0床	30床	0床	24床	0床	R4から運営協議開始予定	
今金町国保病院	52床	0床	0床	33床	19床	－		33床	0床	0床	33床	0床	0床	0床	33床	0床	0床	33床	0床	0床	0床		
道南ロイヤル病院	174床	0床	0床	0床	174床	－		174床	0床	0床	0床	174床	0床	0床	174床	0床	0床	0床	174床	0床	0床		
せたな町立国保病院	97床	0床	58床	0床	39床	－		60床	0床	0床	60床	0床	0床	0床	60床	0床	0床	60床	0床	0床	0床	運営協議中	
国立病院機構八雲病院	240床	0床	0床	0床	240床	－	R2.8.31廃院	643床	0床	207床	198床	214床	24床	0床	574床	0床	118床	218床	214床	24床	0床		
魚住金増湯医院	19床	0床	0床	0床	0床	19床	R1.12.31廃院	* R3病床機能報告								* R3病床機能報告							
* H26病床機能報告																							

○ 「人口減少を見据え、各病院での連携強化による急性期機能の集約化」

- 急性期の削減・集約化により、2025年における当圏域の急性期機能は、八雲総合病院に9割程度が集約される見込み。

急性期病床数の状況（医療機関別）

医療機関名称	■構想策定時	■現状	■2025年の予定	備考 (事務局追記)
八雲町熊石国民健康保険病院	99床	99床	10床	建替の再検討結果を反映
八雲総合病院	214床	108床	108床	
長万部町立病院	30床	0床	0床	R4から建替協議開始予定
今金町国保病院	0床	0床	0床	
道南ロイヤル病院	0床	0床	0床	
せたな町立国保病院	58床	0床	0床	建替協議中(機能は急性期と回復期、病床は39～46床を想定)
国立病院機構八雲病院	0床	207床	118床	構想値103床
魚住金婚湯医院	0床	* R3病床機能報告	* R3病床機能報告	
計	401床			

* H26病床機能報告

○ 「在宅医療の提供体制の構築に向けた、地域における役割分担の明確化及び連携体制の推進について」

退院支援から看取りまでの医療が継続的に行われるよう、それぞれの病院の役割分担を明確にするとともに、多職種を含めた連携の推進を図ることで、在宅医療体制の構築を目指す。



- 在宅医療提供体制の推進に向けて、多職種連携協議会事業（保健所事業）に取り組んでおり、「多職種のつどい」を開催し、医療保健福祉関係者の顔の見える連携づくり、孤立予防に努めている。
- 介護サービス事業者等にも参画をいただき、参加者の希望を踏まえた講演テーマ等を企画し、「つどう」ことで連携を推進している。

「多職種のつどい」開催経過（R3～5）

日程	R3.10.19	R4.3.23	R4.10.26	R5.2.22	R5.5.26	R5.7.22
場所	せたな町	長万部町	長万部町	今金町	せたな町	八雲町熊石
出席数	43名	38名	47名	67名	86名	37名
内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・「歯科診療における口腔ケア・オーラルフレイル予防の実践」 ・症例紹介、検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・職種紹介、実践報告 ・フリートーク「多職種連携で思うこと、やってみたいこと」 	<ul style="list-style-type: none"> ・実践報告「長万部町の取組と現状について」（保健師、医療相談員、訪問看護事業所） ・グループワーク 	<ul style="list-style-type: none"> ・実践報告「施設における看取りについて」 ・グループワーク 	<ul style="list-style-type: none"> ・「認知症患者さんの食支援」 ・「摂食嚥下障害のある方のケア」（栄養食形態編、食事介助編） 	<ul style="list-style-type: none"> ・「耳の聞こえと補聴器との上手な付き合い方」 ・グループワーク

- 「地域医療構想推進に関する意向調査」各病院の今後担うべき役割分担の考えが集約。課題の推進に活用する。
- また、在宅医療の推進の方向性に関する調査等を実施する方向で検討。

令和4年度地域医療構想推進に関する意向調査（抜粋）

医療機関名	○今後担うべき役割	
	2025年度見据え、自らの医療機関が当該構想区域で担うこととしている役割について、他の医療機関との役割分担・連携を考慮しつつ、主たる役割に最も近い記述を1つ選択するとともに、具体的な内容について記載してください。	
	主たる役割分担（選択） ＊	具体的な内容（自由記載）
八雲町熊石国民健康保険病院		3地域センター病院の八雲総合病院との連携
八雲総合病院		2
長万部町立病院		救急告示病院として地域医療を担い、在宅復帰や在宅医療に繋がる医療を提供
今金町国保病院		令和2年9月より地域包括ケア病床33床中17床とし急性期からの在宅復帰に向けたリハビリ等強化して3いる。また、地域のかかりつけ医として訪問診療や訪問看護を強化し、今後は在宅医療支援病院の指定に向け体制を整備している。
道南ロイヤル病院		4
せたな町立国保病院		32及び3が中心的役割

＊主たる役割分担

- 1 急性期患者の受入や手術など、高度・専門医療を中心とした急性期医療を担う
- 2 近隣の高度・専門医療を提供する医療機関と連携しつつ、救急患者の初期対応や比較的症状が軽い患者に対する入院医療等の急性期医療を担う
- 3 近隣の高度・専門医療を提供する医療機関と連携しつつ、急性期経過後の在宅復帰に向けた医療の提供やリハビリテーションを行う
- 4 長期にわたり療養が必要な患者に対する入院医療を担う
- 5 かかりつけ医としての役割や在宅医療における中心的な役割を担う

「在宅医療の提供体制の構築に向けた地域における役割分担の明確化及び連携体制の推進」に係る意向調査の実施要領（案）

1 目的等

著しいスピードで進行している「地域の高齢化」への対応として、近年、改めて「在宅医療」のニーズが高まっており、その充実のためには、関係機関の円滑な連携による「退院支援」や「日常の療養支援」、「急変時の対応」、そして、対象者の親族の意向に出来るだけ寄り添うかたちでの「看取り」が行われる等、地域として「受け皿」となる在宅医療に係るサービスの充実が重要と考えられている。

こうした情勢を鑑みて、「北渡島檜山圏域」において、特に優先すべき取り組みについて、地域の医療や介護サービス関係者を対象にニーズ調査を実施し、今後の地域における議論の参考資料とする。

2 調査対象

「北渡島檜山圏域」（八雲町・長万部町・今金町・せたな町）において、「在宅医療」を担う次の医療・介護サービス事業関係者等

- （1）医療機関（診療所及び歯科医院も含む）
- （2）介護サービス事業所
- （3）町
- （4）医師会
- （5）その他

3 調査の実施時期

令和5年10月～令和6年3月

※上記の目的に加えて、次期「北海道医療計画（令和5年策定）」に係る地域推進方針（八雲地域保健室作成）の策定に資する参考資料も兼ねることとする。

「在宅医療の提供体制の構築に向けた地域における役割分担の明確化及び連携体制の推進」に係る意向調査の実施要領(案)

4 調査方法

管内各事業所等に対して、記名によるアンケート形式の調査を実施する。

※調査結果の取りまとめ後、「北渡島檜山保健医療福祉圏域連携推進会議に設置されている各専門部会における議論に活用し、令和6年9月策定予定の次期「地域連携推進方針」の作成に資することとする。

5 事務局等、実施体制

北海道渡島総合振興局八雲地域保健室（北海道八雲保健所）企画総務課企画係に設置し、必要に応じて、同室健康推進課にも、協力を求める。

また、各専門部会にも、必要に応じて意見を求めるとともに、適宜、情報提供を行う。

6 調査結果の報告

本件調査に係る進捗状況及び取りまとめ結果等は、「北渡島檜山保健医療福祉圏域連携推進会議」及び「北渡島檜山圏域地域医療構想調整会議」において、報告する。

意向調査スケジュール（案）

時期	内容	関係行事	備考
R5年8月	○調査要領作成		
9月			
10月	○調査実施		
11月	○集計・まとめ		
12月			
R6年1月	○調整会議 ○圏域連携推進会議 及び部会で報告	○圏域連携推進会議各部会	
2月		○第2回調整会議 ○第2回圏域連携推進会議	
3月			